



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター



Fukuoka 2017

IBSA

**Tenpin Bowling
World Championships**

— Report —

福岡 2017

IBSA

**テンピンボウリング
世界選手権大会**

— 報告書 —

22-30,

August,

2017

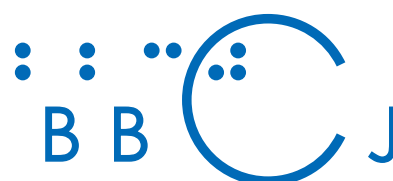
Fukuoka, Japan

**Special Sponsor
DHC Corporation**

特別協賛

株式会社ディーエイチシー

DHC



Blind Bowling Congress Japan

概 要

(1) 主催

国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA)
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会

(2) 主管

福岡県ボウリング連盟

(3) 特別協賛

株式会社ディーエイチシー

(4) 後援

スポーツ庁／外務省／福岡県／福岡市／公益社団法人日本ボウリング場協会／
全国ボウリング公認競技場協議会／福岡県公認ボウリング場協会／福岡県商工会議所連合会／
福岡県障害者スポーツ協会／福岡市障がい者スポーツ協会／社会福祉法人福岡市社会福祉協議会／
社会福祉法人日本盲人会連合スポーツ協議会／社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会／
一般社団法人福岡市視覚障害者福祉協会／筑波大学附属盲学校後援会／株式会社西日本新聞社

(5) 協力

公益財団法人全日本ボウリング協会／博多スターレーン／社会医療法人大成会福岡記念病院／
日本赤十字社福岡赤十字病院／ビッグホリデー株式会社／アンダーデザイン

(6) 協賛

MK チャリティカップ実行委員会／バークレイズ証券株式会社／大塚製薬株式会社／
福岡ノーマライゼーション・ライオンズクラブ／株式会社ゼネラルアサヒ／有限会社華世システム／
株式会社リヴァイト／セノー株式会社

(7) 会場

博多スターレーン
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1 丁目 18-33

(8) クラス分け会場

社会医療法人大成会 福岡記念病院
〒814-8525 福岡市早良区西新 1 丁目 1-35

(9) 参加国・地域数

12 か国・地域：オーストラリア／中華台北／チェコ／フィンランド／香港／イスラエル／日本／
韓国／マレーシア／ポーランド／シンガポール／タイ

(10) 参加者数

選手 62 名／チーム役員 39 名

(11) 日程

8月22日(火) 選手団到着、クラス分け準備
8月23日(水) クラス分け、ボール登録、非公式練習、監督会議
8月24日(木) クラス分け、ボール登録、非公式練習、市内観光
8月25日(金) 公式練習、レーン抽選、開会式、ウェルカムレセプション
8月26日(土) 個人戦、表彰式
8月27日(日) ダブルス戦、表彰式
8月28日(月) 3人チーム戦、表彰式
8月29日(火) 4人チーム戦、表彰式、閉会式、バンケット
8月30日(水) 選手団帰国

福岡 2017 IBSA テンピンボウリング世界選手権大会 報告



競技会場

1. はじめに

この報告書は、2017年8月22日から30日まで、福岡市で開催された日本で初めての視覚障害者ボウリング世界選手権大会について、協力いただいた方々に大会運営のご報告をするとともに、多くの方々に競技の魅力を知っていただくことを目的として作成しました。今後の視覚障害者ボウリングの普及につながることを願っています。

この大会を開催するにあたり、特別協賛をしていただいた株式会社ディーエイチシー様より多大なるご支援をいただきました。また、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興基金より助成を受けることができました。加えて、多くの団体、企業、個人の皆さまからご協賛、ご寄付をいただきました。スポーツ庁、外務省、福岡県、福岡市をはじめとする、多方面からのご後援をいただき、公益財団法人全日本ボウリング協会、福岡県ボウリング連盟等の団体、クラシファイア、医療スタッフ、審判員、通訳者、ボランティアなど、多くの方々にご協力いただきました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

2. クラス分け

視覚障害者のスポーツ競技においては、障害の程度によるクラス分けがなされます。ボウリング競技では選手はB1、B2、B3の3クラスに分かれて競技を行います。



チーフクラシファイア
清水朋美先生（右）



クラシファイアとクラス分けスタッフ



クラシファイア
Dr. Hauser（左）
Dr. Mohan（中）

国際大会に参加する選手は必ず IPC（国際パラリンピック委員会）、IBSA が認める視覚国際クラシファイアによるクラス分けを受けなくてはなりません。今大会では社会医療法人大成会福岡記念病院の講義室を借り、必要な検査機器を搬入し、IPC / IBSA 視覚国際クラシファイアの眼科医が 4 名（日本人医師 2 名、イスラエル人医師 1 名、マレーシア人医師 1 名）、アシスタントとして眼科医が 1 名、検査補助として視能訓練士 3 名がクラス分けにあたりました。クラシファイア 2 名が一组（1 パネル）となってクラス分けを担当しました。つまり今大会では 2 パネルでのクラス分けとなりました。パネルが 2 つあることで、1 つのパネルでの結果が選手にとって不利な場合などに、再検査することが可能となります。

選手の視機能の状態によって、大会ごとにクラス分けを受ける必要のある選手、次に受ける年が決められている選手、クラスが確定していてこの先クラス分けを受ける必要のない選手がいます。今回のクラス分け対象選手は 62 名中 30 名でした。クラス分けには一人当たり約 30 分の診断時間がかかり、一日半に及ぶクラス分けの結果、3 名の選手がエントリー時の B3 クラスから B2 クラスへ変更となりました。

3. 競技方法

競技は 4 日間に渡り、個人戦、ダブルス戦、3 人チーム戦、4 人チーム戦、個人総合戦、国・地域別メダル対抗戦が行われました。

個人戦はクラス別、男女別の 6 カテゴリーで競技が行われました。ダブルス戦では 2 人の選手のクラスの合計が B4 以下という条件があり、B1+B2/B3（B1 選手を必ず含めてチームを編成）カテゴリーと、B2+B2（B2 選手のみでチームを編成）カテゴリーの 2 つでメダルが争われました。3 人チーム戦は 3 人の選手のクラスの合計が B6 以下、4 人チーム戦では B8 以下という

条件に加え B1 クラスの選手を必ず含める必要があります。なお、ダブルス戦とチーム戦は男女混合で行い、女子選手には 1 ゲームにつき 10 点のハンディキャップを加算しました。

個人戦、ダブルス戦では 6 ゲームの予選、3 人チーム戦、4 人チーム戦では 4 ゲームの予選の結果、上位 4 名・チームが準決勝で戦い、その勝者が決勝に進出するという方式を採用しました。準決勝は 1 ゲームとし、1 位と 4 位、2 位と 3 位が対戦し、それぞれの敗者は銅メダルを獲得しました。準決勝の勝者は決勝戦 1 ゲームマッチをおこない、勝者は金メダルを、敗者は銀メダルを獲得しました。

個人総合戦は、個人戦と同様の 6 カテゴリーで、4 日間の予選 20 ゲームの総得点で順位を決定し、上位 3 名に金、銀、銅メダルが授与されました。国・地域別メダル対抗戦は獲得したメダルの数で順位を決定しました。なお、今大会ではクラス別、男女別に 4 日間の予選 20 ゲームの中で 1 ゲームのスコアが最も高かった選手に協賛企業よりハイゲーム賞が授与されました。



監督者会議



競技風景

4. 結果概要



B1 女子 高木綾子選手

(1) 国・地域別メダル対抗戦

参加国・地域別のメダル獲得数では、韓国が金メダル 9 個、銀メダル 4 個、銅メダル 6 個と突出した強さを示しました。各国の派遣費の都合や競技力により派遣選手数の少なかった国もあったため、一概には言えませんが、参加可能最大人数である 12 名の選手をエントリーした韓国の強さが目立ちました。日本も 12 名の選手をエントリーしましたが、準決勝で敗退し銅メダルを獲得することが多く 2 位となりました。3 位は中華台北、4 位はフィンランドでした。チェコ以外の参加国・地域の全てが、1 つ以上のメダルを獲得しました。メダルを獲得したことで、各国・地域における視覚障害者ボウリングの評価が高まれば、さらなる認知度の向上、選手数の拡大等、普及のきっかけになると期待ができます。



299 点を出した
Lee Kunhye 選手

(2) 個人総合戦・ハイゲーム賞

今回の成績を見ると女子選手の中に男子選手をも上回る突出した実力のある選手がいることがわかります。全てのクラスの中で、もっとも高い得点を残したのが、B2 クラス女子、韓国の Lee Kunhye 選手でした。初日からあわやパーフェクトゲームの 299 点をたたきだし、アベレージは 214.3 というハイスコアでした。B1 女子クラスでは日本の高木綾子選手が、147.5 と同クラスの男性選手よりも高いアベレージを示しました。

(3) 個人戦

B1 男子では元軍人のイスラエル選手が予選 4 位から勝ち上がり、見事優勝を果たしました。B2 クラスでは男女とも韓国選手が優勝しました。B3 クラス男子ではシンガポール選手が実力通りの結果を残し優勝しました。日本選手も女子の B1 クラスと B3 クラスで金メダルを獲得しました。

(4) ダブルス戦

B1+B2/B3 カテゴリーでは、日本チームは予選を 1 位、3 位で通過したものの、それぞれ準決勝で敗退し 2 チームとも銅メダルとなりました。優勝は韓国チームでした。B2+B2 カテゴリーでも同じく韓国チームが優勝しました。

(5) 3 人チーム戦

韓国チームが 1 位、2 位を独占し、日本チームは惜しくも 2 チームとも銅メダルとなりました。



Kim Young Cheol 選手に指示を与えるコーチ

(6) 4人チーム戦

4人チーム戦においても、韓国チームが実力を発揮し金メダルと銅メダルを獲得しました。日本は善戦しましたが準決勝で敗れ3位となりました。

5. 安全対策

以下のような安全に対する対策をすることで、大きな問題もなく無事に大会を終えることができました。

(1) 障がい者スポーツ医の配置

一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会のチームドクターであり、日本障がい者スポーツ協会の障がい者スポーツ医の資格を持つ内科医が会場に常駐し、選手団、大会スタッフの体調不良への対応をおこないました。また、同じく障がい者スポーツ医の資格を持つ2名の整形外科医が公式練習および競技開催日に、交互に会場に待機し選手団、スタッフの怪我に備え、大きな怪我の場合には、受け入れへの配慮をしてもらうよう地元の病院に対し事前に協力を申し出ました。



大会受付

(2) 一般入場者の把握

会場への入場者を受付にて把握しました。氏名、入場時間、退場時間の記入を義務付け、会場内では入場証を身に付けてもらい、不審者の出入りを防ぐ対策をおこないました。

6. 障害、宗教等に対する配慮

今大会では視覚障害や宗教上の制約等に対する配慮の充実を図りました。

(1) パンフレットおよびメダル



メダル 表面



メダル 裏面

視覚障害者の大会であるため、視覚情報を補う工夫をしました。大会パンフレットは全ページ日本語と英語の対訳とし、表紙にはUVインク（紫外線硬化樹脂インク）により大会名の点字と大会ロゴの触図を付けました。あわせて日本語版、英語版の点字のパンフレットも準備しました。上位入賞者に贈られるメダルについては、表面を大会ロゴとほぼ同様のデザインとし、裏

面に福岡県の地図、福岡（ふくおか）と2017を点字で表しました。こうすることで選手がどの大会のパンフレットやメダルであったかを判別することが可能となります。



点字を付した大会プログラム

（２）通訳者の配置

視覚障害者の情報入手において言葉での説明は重要です。視覚に障害があり、その国の言葉がわからなければ必要な情報を手に入れることが不可能となります。そこで今大会では、各国・地域の選手団にその国の言語と日本語をつなぐ通訳者を配置しました。これにより組織委員会と選手団、選手団同士のコミュニケーションが容易となり、スムーズな大会運営につながりました。

（３）食事への配慮

一般的にボウリングの国際大会では、食事の提供は行われていないようですが、本大会は視覚障害者の大会であり、食事場所を探す困難を軽減するため大会期間中の全ての食事を組織委員会で準備しました。

今大会の選手団の中にはイスラム教徒（ムスリム）の選手・役員がいたため、ハラール食を別に準備しました。福岡市内のハラールを提供するレストランより食事をテイクアウトし対応しました。ベジタリアンの選手のためには専門店より食事を配達してもらいました。



ハラール 弁当

７．外部機関との連携

日本での開催の思い出となるよう博物館での日本文化体験を実施したり、世界選手権としては初のインターネット上におけるライブ中継を行いました。

（１）福岡市博物館での体験

福岡市博物館の「異なる文化背景、言語、障害の有無に関わらず全ての人がアクセスできる博物館・ユニバーサルミュージアム」を目指した取り組みとコラボレーションし、日本文化体験プログラムを実施しました。



プログラムは能楽体験、茶道体験、SAMURAI体験の３つでした。能楽師が能と狂言を披露するとともに参加者が実際に鼓を打ったり、茶葉と抹茶の違いを触って体験したり、甲冑や兜（レプリカ）を装着したり、聴覚や触覚など五感で日本文化を体験できる内容でした。

福岡市博物館 茶道体験



福岡市博物館 能楽



福岡市博物館 SAMURAI 体験



ライブ中継のカメラ

(2) ライブ中継

視覚障害者ボウリングの世界選手権としては初の試みとなる LIVE 中継を実施しました。アンダーデザインとの協力によりソーシャルメディアのライブ映像配信機能を利用し、実況中継を行いました。実況の際には映像を観ることが出来ない視覚障害者にも競技の状況が伝わるように可能な限りの状況説明を依頼しました。準決勝・決勝については、福岡県ボウリング連盟理事長が競技や選手について詳しく解説をしました。その時の映像は大会 Facebook や YouTube で大会終了後も視聴可能です。視覚障害者ボウリングの普及に役立つ貴重な映像を残すことができました。



競技風景

8. その他

今大会は NHK、KBC 九州朝日放送、RKB 毎日放送、J:COM 等の映像媒体で取り上げられ、西日本新聞、毎日新聞、ボウリング関係誌等の文字媒体、NBC 長崎放送、NHK ナビラジオ等の音声媒体、インター



九州朝日放送の取材

ネットの障害者スポーツ紹介サイトといった多方面にわたるメディアで取り上げられました。

開会式、ウェルカムレセプション、バンケットでは視覚に障害のある音楽家が和太鼓や琴の演奏を披露し、大会を盛り上げてくれました。

大会最終日のバンケットは、各国選手団のスピーチや歌などが披露され、大変盛り上がりしました。大会の最後を締めくくる素晴らしい会となりました。



「アジャーリア」の演奏に合わせて踊る選手たち（レセプション）



澤村祐司氏の琴演奏（バンケット）



BPAJ 池田朝彦顧問
バンケット挨拶



全員での集合写真（バンケット）



大会進行 山西（左）と上田（右）



博多スターレーン
寺田支配人



青松会長と George Tan TD、
浅原カメラマン（左から）

集合写真（各国・地域：ABC 順、スタッフ）



Australia



Hong Kong



Chinese Taipei



Israel



Czech Republic



Japan



Finland



Korea



Malaysia



Singapore



Poland



Thailand



Staff

大会結果

個人戦 (B1 クラス)

予選

B1 - MEN'S SINGLES

POS	CODE	NAME	COUNTRY • REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	107	Kim Young Cheol	Korea	158	207	132	145	159	142	943	157.2	0
2	102	Makivirta Petri	Finland	165	143	166	136	112	184	906	151.0	-37
3	106	Kim Jung Hoon	Korea	124	148	131	143	171	184	901	150.2	-42
4	103	Lezmy Shlomo	Israel	149	120	161	149	140	153	872	145.3	-71
5	111	Kietkongtawee Krisada	Thailand	125	126	146	154	138	141	830	138.3	-113
6	110	Koziej Zdzislaw	Poland	131	157	141	128	134	137	828	138.0	-115

B1 - WOMEN'S SINGLES

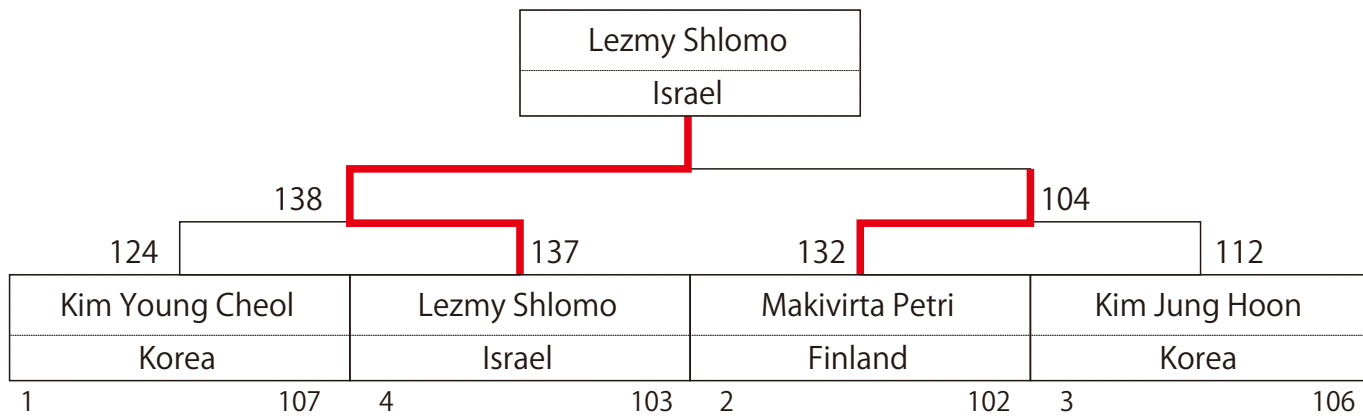
POS	CODE	NAME	COUNTRY • REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	154	Takagi Ayako	Japan	137	134	152	165	157	171	916	152.7	0
2	151	Luck Marilyn	Australia	113	127	175	178	155	108	856	142.7	-60
3	156	Yang Hyun Kyung	Korea	126	160	111	111	136	99	743	123.8	-173
4	155	Kim Heunghwa	Korea	100	99	86	106	132	149	672	112.0	-244
5	153	Emura Tamami	Japan	95	86	88	134	132	122	657	109.5	-259
6	157	Rzepa Karolina	Poland	99	108	137	99	117	72	632	105.3	-284

6 位まで

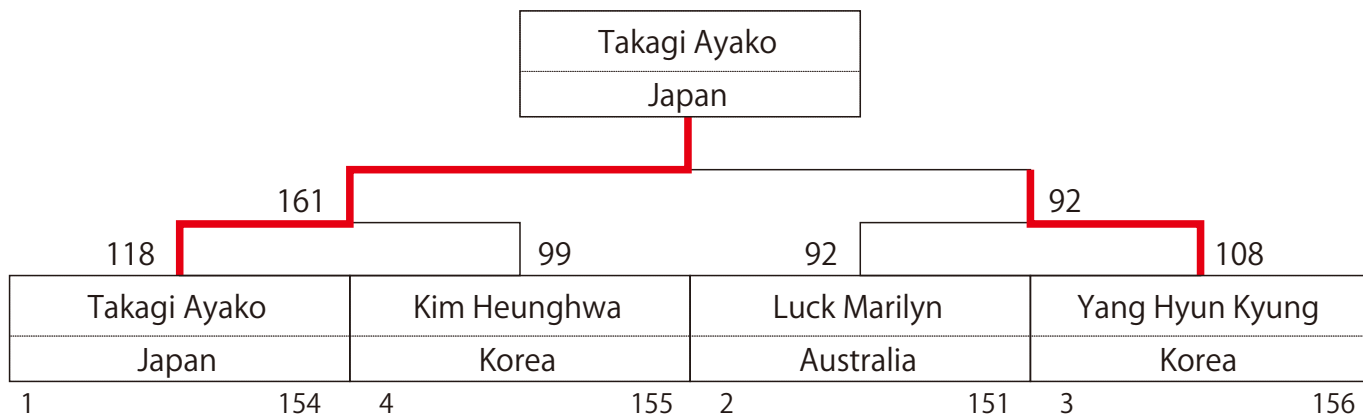
決勝

SINGLES FINAL

B1 - MEN'S SINGLES



B1 - WOMEN'S SINGLES





Takagi Ayako (JPN)



Yang Hyun Kyung (KOR)



Makivirta Petri (FIN)



Kim Young Cheol (KOR)



Mori Kanju (JPN)



Lezmy Shlomo (ISR)



Kim Heunghwa (KOR)



Kim Jung Hoon (KOR)



Luck Marilyn (AUS)

個人戦（B2 クラス）

予選

B2 - MEN'S SINGLES

POS	CODE	NAME	COUNTRY・REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	213	Koh Young Bae	Korea	223	193	224	246	158	206	1250	208.3	0
2	214	Ab Hamid Muhamad Suhaili	Malaysia	223	224	187	172	174	192	1172	195.3	-78
3	217	Kobayashi Kazuaki	Japan	182	146	202	151	233	214	1128	188.0	-122
4	211	Mori Toru	Japan	227	188	172	160	148	232	1127	187.8	-123
5	215	Choo Kam Chan	Malaysia	193	223	164	190	178	173	1121	186.8	-129
6	202	Huang Tzu-Hsuan	Chinese Taipei	190	203	182	185	187	172	1119	186.5	-131

B2 - WOMEN'S SINGLES

POS	CODE	NAME	COUNTRY・REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	258	Lee Kunhye	Korea	164	299	224	192	202	245	1326	221.0	0
2	256	Lee Yunkyung	Korea	183	212	177	181	173	214	1140	190.0	-186
3	252	Nasila Tuija	Finland	161	183	171	194	201	222	1132	188.7	-194
4	257	Rogacka Jadwiga	Poland	157	211	155	181	188	181	1073	178.8	-253
5	255	Cho Young Hwa	Korea	154	183	158	205	188	136	1024	170.7	-302
6	253	Iwashita Yumiko	Japan	179	153	148	147	148	177	952	158.7	-374

6 位まで

決 勝

SINGLES FINAL

B2 - MEN'S SINGLES

Koh Young Bae Korea			
211	232	165	191
Koh Young Bae	Mori Toru	Ab Hamid Muhamad Suhaili	Kobayashi Kazuaki
Korea	Japan	Malaysia	Japan
1	213	4	211
		2	214
			3
			217

B2 - WOMEN'S SINGLES

Lee Kunhye Korea			
189	208	150	157
Lee Kunhye	Rogacka Jadwiga	Lee Yunkyung	Nasila Tuija
Korea	Poland	Korea	Finland
1	258	4	257
		2	256
			3
			252



Ab Hamid Muhamad Suhaili (MAS)



Kobayashi Kazuaki (JPN)



Koh Young Bae (KOR)



Lee Kunhye (KOR)



Lee Yunkyung (KOR)



Mori Toru (JPN)



Rogacka Jadwiga (POL)



Nasila Tuija (FIN)

個人戦 (B3 クラス)

予選

B3 - MEN'S SINGLES

POS	CODE	NAME	COUNTRY・REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	302	Huang Yu-Hsiao	Chinese Taipei	215	222	245	239	214	195	1330	221.7	0
2	314	Bin Hussain Mohamed Ismail	Singapore	201	195	243	244	175	223	1281	213.5	-49
3	312	Manaf Noresham	Malaysia	257	152	169	189	152	225	1144	190.7	-186
4	304	Cheung Hoi Tung	Hong Kong	164	167	198	153	192	246	1120	186.7	-210
5	310	Lee Yong Tae	Korea	239	128	161	213	165	207	1113	185.5	-217
6	305	Kiyosugi Masatoshi	Japan	184	198	159	213	191	167	1112	185.3	-218

B3 - WOMEN'S SINGLES

POS	CODE	NAME	COUNTRY・REGION	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	AVE	DIFF
1	352	Koskinen Mari	Finland	180	161	153	153	183	178	1008	168.0	0
2	354	Yuen Wing Shan	Hong Kong	154	168	183	170	183	134	992	165.3	-16
3	355	Morisawa Akiko	Japan	128	138	178	172	181	181	978	163.0	-30
4	357	Chanchiao Khao	Thailand	198	137	178	127	138	183	961	160.2	-47
5	353	Chu Wing Kum	Hong Kong	131	151	140	170	140	170	902	150.3	-106
6	351	Machackova Vera	Czech Republic	139	124	114	150	157	150	834	139.0	-174

6 位まで

決 勝

SINGLES FINAL

B3 - MEN'S SINGLES

Bin Hussain Mohamed Ismail			
Singapore			
159			181
157	229	203	142
Huang Yu-Hsiao	Cheung Hoi Tung	Bin Hussain Mohamed Ismail	Manaf Noresham
Chinese Taipei	Hong Kong	Singapore	Malaysia
1	302	4	304
2			314
			3
			312

B3 - WOMEN'S SINGLES

Morisawa Akiko			
Japan			
136			159
167	159	134	153
Koskinen Mari	Chanchiao Khao	Yuen Wing Shan	Morisawa Akiko
Finland	Thailand	Hong Kong	Japan
1	352	4	357
2			354
			3
			355



Huang Yu-Hsiao (TPE)



Koskinen Mari (FIN)



Bin Hussain Mohamed Ismail (SIN)



Manaf Noresham (MAS)



Morisawa Akiko (JPN)



Chanchiao Khao (THA)



Yuen Wing Shan (HKG)



Cheung Hoi Tung (HKG)

ダブルス戦 (B1 + B2/3 カテゴリー)
予選

DOUBLES - B1 + B2/3

POS	CODE	NAME	HCP	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	GRAND TOTAL	AVE.	DIFF.
1	154	Takagi Ayako	60	156	135	138	149	164	137	939.0	2090	146.5	0
	305	Kiyosugi Masatoshi		162	234	190	172	168	225	1151.0		191.8	
		Japan		318	369	328	321	332	362				
2	102	Makivirta Petri		111	176	132	178	139	128	864.0	2076	144	-14
	352	Koskinen Mari	60	212	212	158	171	176	223	1212.0		192	
		Finland		323	388	290	349	315	351				
3	104	Mori Kanju		136	142	129	171	155	132	865.0	2044	144.2	-46
	307	Ozaki Toshio		184	169	245	170	177	234	1179.0		196.5	
		Japan		320	311	374	341	332	366				
4	106	Kim Jung Hoon		145	144	140	126	157	134	846.0	1992	141	-98
	308	Bae Jin Hyung		247	160	161	185	166	227	1146.0		191	
		Korea		392	304	301	311	323	361				
5	110	Koziej Zdzislaw		124	140	144	150	115	161	834.0	1958	139	-132
	313	Strzelecki Zbigniew		195	143	209	181	182	214	1124.0		187.3	
		Poland		319	283	353	331	297	375				
6	107	Kim Young Cheol		154	143	136	106	123	116	778.0	1904	129.7	-186
	310	Lee Yong Tae		180	201	179	184	191	191	1126.0		187.7	
		Korea		334	344	315	290	314	307				

6 位まで

決 勝
DOUBLES FINAL

DOUBLES - B1 + B2/3

Kim Jung Hoon			
Bae Jin Hyung			
Korea			
355 342			
313 346 310 289			
Takagi Ayako		Kim Jung Hoon	
Kiyosugi Masatoshi		Bae Jin Hyung	
Japan		Korea	
Makivirta Petri		Ozaki Toshio	
Koskinen Mari		Finland	
1		3	
154		104	
4		307	
305		308	
352			

ダブルス戦 (B2 + B2 カテゴリー)
予選

DOUBLES - B2 + B2

POS	CODE	NAME	HCP	G1	G2	G3	G4	G5	G6	TOTAL	GRAND TOTAL	AVE.	DIFF.
1	213	Koh Young Bae		193	206	213	222	178	213	1225	2587	204.2	0
	258	Lee Kunhye	60	267	258	217	173	185	202	1362		217.0	
		Korea		460	464	430	395	363	415				
2	201	Chen Ming-Tsai		164	205	172	171	215	176	1103	2235	183.8	-352
	202	Huang Tzu-Hsuan		204	175	212	152	177	212	1132		188.7	
		Chinese Taipei		368	380	384	323	392	388				
3	203	Ke Ming-Shuo		171	201	186	173	189	210	1130	2226	188.3	-361
	204	Shieh Tsung-Han		195	155	222	201	143	180	1096		182.7	
		Chinese Taipei		366	356	408	374	332	390				
4	211	Mori Toru		182	190	158	169	173	153	1025	2201	170.8	-386
	217	Kobayashi Kazuaki		167	225	196	192	177	219	1176		196.0	
		Japan		349	415	354	361	350	372				
5	257	Rogacka Jadwiga	60	181	193	168	172	148	201	1123	2194	177.2	-393
	216	Kontrymowicz Mieczyslaw		182	165	192	169	158	205	1071		178.5	
		Poland		363	358	360	341	306	406				
6	212	Kim Nam Hun		185	160	172	172	182	191	1062	2172	177.0	-415
	256	Lee Yunkyung	60	169	186	153	195	176	171	1110		175.0	
		Korea		354	346	325	367	358	362				

6 位まで

決 勝

DOUBLES FINAL

DOUBLES -B2 + B2

Koh Young Bae							
Lee Kunhye							
Korea							
512							
404	362	337	413				
Koh Young Bae	Mori Toru	Chen Ming-Tsai	Ke Ming-Shuo				
Lee Kunhye	Kobayashi Kazuaki	Huang Tzu-Hsuan	Shieh Tsung-Han				
Korea	Japan	Chinese Taipei	Chinese Taipei				
1	213	4	211	2	201	3	203
	258		217		202		204

TRIOS

6 位まで

TRIOS FINAL

TRIOS

1 106 213 258 4 104 210 305 2 154 307 217 3 107 256 308

4 人チーム戦
予選

TEAM OF FOUR

POS	CODE	NAME	HCP	G1	G2	G3	G4	TOTAL	GRAND TOTAL	AVE.	DIFF.
1	107	Kim Young Cheol		160	202	108	139	609	3108	152.25	0
	212	Kim Nam Hun		242	219	179	138	778		194.5	
	308	Bae Jin Hyung		210	193	206	242	851		212.75	
	258	Lee Kunhye	40	171	214	229	216	870		207.5	
		Korea		783	828	722	735				
2	106	Kim Jung Hoon		109	181	137	165	592	2939	148	-169
	256	Lee Yunkyung	40	188	148	150	201	727		171.75	
	310	Lee Yong Tae		211	177	215	213	816		204	
	213	Koh Young Bae		223	231	199	151	804		201	
		Korea		731	737	701	730				
3	154	Takagi Ayako	40	130	122	152	131	575	2932	133.75	-176
	305	Kiyosugi Masatoshi		200	193	181	241	815		203.75	
	211	Mori Toru		198	151	163	161	673		168.25	
	217	Kobayashi Kazuaki		240	172	255	202	869		217.25	
		Japan		768	638	751	735				
4	152	Chiu Pei-Yu	40	97	152	119	88	496	2784	114	-324
	202	Huang Tzu-Hsuan		188	209	246	184	827		206.75	
	204	Shieh Tsung-Han		148	170	172	147	637		159.25	
	302	Huang Yu-Hsiao		222	212	176	214	824		206	
		Chinese Taipei		655	743	713	633				
5	109	Miran Muhamad Hairul		97	137	190	147	571	2767	142.75	-341
	214	Ab Hamid Muhamad Suhaili		167	169	203	179	718		179.5	
	215	Choo Kam Chan		198	157	149	193	697		174.25	
	311	Hassan Mohd Rizal		179	218	189	195	781		195.25	
		Malaysia		641	681	731	714				
6	110	Koziej Zdzislaw		132	105	110	157	504	2697	126	-411
	257	Rogacka Jadwiga	40	220	205	156	156	777		184.25	
	216	Kontrymowicz Mieczyslaw		127	164	186	190	667		166.75	
	313	Strzelecki Zbigniew		196	174	183	196	749		187.25	
		Poland		675	648	635	699				

決 勝

TEAM OF FOUR

6 位まで

TEAM OF FOUR FINAL

Kim Jung Hoon	Korea
Lee Yunkyung	
Lee Yong Tae	
Koh Young Bae	

715				774											
662	1 4		698	759	2 3		681								
Kim Young Cheol	Chiu Pei-Yu		Kim Jung Hoon	Takagi Ayako											
Kim Nam Hun	Huang Tzu-Hsuan		Lee Yunkyung	Kiyosugi Masatoshi											
Bae Jin Hyung	Shieh Tsung-Han		Lee Yong Tae	Mori Toru											
Lee Kunhye	Huang Yu-Hsiao		Koh Young Bae	Kobayashi Kazuaki											
Korea	Chinese Taipei		Korea	Japan											
107	212	308	258	152	202	204	302	106	256	310	213	154	305	211	217

ALL-EVENTS HIGH-GAME AWARD

B1 - WOMEN'S

POS	CODE	NAME	COUNTRY • REGION	SCORE	AVE
1	154	Takagi Ayako	Japan	2949	147.5
2	151	Luck Marilyn	Australia	2713	135.7
3	156	Yang Hyun Kyung	Korea	2392	119.6
4	153	Emura Tamami	Japan	2342	117.1
5	157	Rzepa Karolina	Poland	2325	116.3
6	155	Kim Heunghwa	Korea	2094	104.7
High Game	151	Luck Marilyn	Australia	188	

B2 - WOMEN'S

POS	CODE	NAME	COUNTRY • REGION	SCORE	AVE
1	258	Lee Kunhye	Korea	4286	214.3
2	256	Lee Yunkyung	Korea	3588	179.4
3	257	Rogacka Jadwiga	Poland	3544	177.2
4	252	Nasila Tuija	Finland	3353	167.7
5	253	Iwashita Yumiko	Japan	3308	165.4
6	255	Cho Young Hwa	Korea	3257	162.9
High Game	258	Lee Kunhye	Korea	299	

B3 - WOMEN'S

POS	CODE	NAME	COUNTRY • REGION	SCORE	AVE
1	352	Koskinen Mari	Finland	3621	181.1
2	354	Yuen Wing Shan	Hong Kong	3273	163.7
3	355	Morisawa Akiko	Japan	3229	161.5
4	353	Chu Wing Kum	Hong Kong	3171	158.6
5	357	Chanchiao Khao	Thailand	3044	152.2
6	351	Machackova Vera	Czech Republic	2988	149.4
High Game	352	Koskinen Mari	Finland	236	

INTERNATIONAL
B L I N D
S P O R T S
F E D E R A T I O N

25 - 29 August 2017

MEDAL TALLY

[illegible]



World Bowling
赤木恭平 終身名誉会長
開会式挨拶



選手宣誓 岩下選手（左） 小林選手（右）



表彰式



BBCJ 青松会長 閉会式挨拶



国・地域別メダル対抗戦優勝
韓国チーム



3人チーム戦 表彰



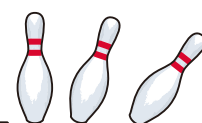
個人戦 B2 女子クラス 表彰



個人総合戦 B3 女子クラス 表彰



個人総合戦 B3 男子クラス 表彰



一般社団法人 **全日本視覚障害者ボウリング協会**

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-24-5-201

TEL 03-3818-3009

E-mail jimu@bbcj.org

Blind Bowling Congress Japan

2-24-5-201 Koishikawa, Bunkyo, Tokyo

112-0002 JAPAN

Phone +81 (0) 3 3818 3009

E-mail jimu@bbcj.org

